

道北北部医療連携ネットワークシステム (ポラリスネットワーク) について

当院は、地域の医療機関との医療連携において、患者さまに一貫性のある医療を提供することを目的に、医療連携ネットワークシステム（以下「ポラリスネットワーク」という。）を導入しております。これは、正確な情報に基づいた高度で安全な医療の提供を行うために、当院と地域における連携医療機関との間でネットワークを結び、ITを利用し診療情報の共有を図るものです。
以下の主旨をよくご理解いただいたうえで、ご賛同いただきたいと思います。

1. ネットワークの目的

「ポラリスネットワーク」は、患者さまのプライバシー保護を厳重に図りながら、診療情報の一部を地域の連携医療機関との間で共有し、画像・検査などから得られた多くの共有データを元に、効率的に質の高い安全な診療の提供を可能にすることを目的としています。

2. ネットワーク化のメリット

「ポラリスネットワーク」を活用し、当院から連携医療機関への紹介状に併せてデータを送信することで、画像・検査・薬歴等の情報が共有化され、検査や投薬の重複防止が図られるなど、安全で質の高い診療を受けることが可能になります。

また、救急医療において、他病院の専門医による遠隔診断を可能にし、専門医が不在である病院においても適切な診断による転院搬送が可能となり、患者さまの負担軽減が図られます。

3. 個人情報の安全確保

「ポラリスネットワーク」では、患者さまの診療情報を守るために次のような対策を講じています。

- (1) 患者さまの診療情報を見ることができるのは、下記の連携医療機関と当院の医師に限られます。
- (2) 「ポラリスネットワーク」は、外部からの不正な侵入に対して厳格に情報を保護しています。

4. 救急遠隔トリアージ依頼時、紹介状（診療情報提供書）発行時に公開します。

救急医療における遠隔トリアージの依頼時、および当院から連携医療機関へ紹介状を発行するとき、紹介状を提出することで公開の同意が得られたと判断し、紹介先へ情報を公開いたします。

病病連携、病診連携においては患者様から申し出がなければ個人情報保護法に基づき施設間で医療情報の共有をさせていただきます。

「ポラリスネットワーク」での診療情報共有を取りやめたい場合には、当院「患者総合支援センター」（新館1階）にお申し出ください。もし、取りやめた場合でも、今後の診療に不利益を被ることはありません。

連携医療機関（令和4年7月1日現在）

名寄市立総合病院	名寄市風連国保診療所	幌延町立診療所
市立稚内病院	名寄三愛病院	興部町国民健康保険病院
士別市立病院	名寄東病院	西興部厚生診療所
枝幸町国民健康保険病院	吉田病院	中川町立診療所
浜頓別町国民健康保険病院	たに内科クリニック	音威子府村立診療所
町立下川病院	しべつ内科クリニック	猿払村国民健康保険病院
和寒町立診療所	剣淵町立診療所	中頓別国民健康保険病院